



制水弁 接液部ステンレスタイプ[°]

AWR / VWR形

概要

- 流体接液部にステンレス材を使用し、クリーンな流体を維持したままの制御が可能です。
(接液部以外は黄銅等を使用)
- 従来のAWR / VWRシリーズの高い信頼性と品質を踏襲。

仕様

共通仕様

- 本体部最高使用温度：60℃
- 最高使用圧力：AWR 0.98MPa (冷却水側)、1.96MPa (冷媒側)
VWR 1.0MPa (冷却水側)、4.2MPa (冷媒側)
- 本体材質：ステンレス鋼鋳鋼

カタログ番号の説明

AWR - 12 03 G L W S
I II III IV V VI VII

I	形式
II	弁口径
III	接続管径
IV	継手形状
V	圧力区分
VI	使用流体
VII	本体材質

VWR - 15 04 G S
I II III IV V

I	形式
II	弁口径
III	接続管径
IV	継手形状
V	本体材質



AWR形



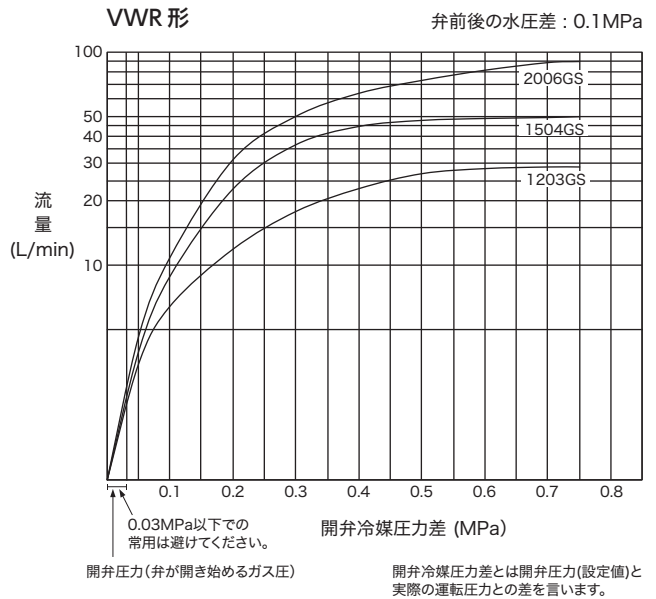
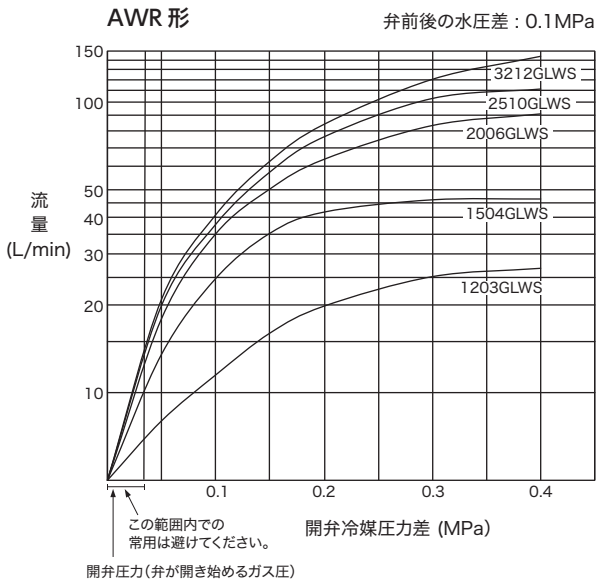
VWR形

カタログ番号		継手		弁作動	圧力調整範囲 (MPa)	納入時設定圧力 (MPa)	質量 (kg)
形式	番号	形状	呼び				
AWR	1203GLWS	管用テーパめねじ Rc *1	3/8"	圧力 上昇時 弁開	0.59~1.77	0.74	0.7
	1504GLWS		1/2"				0.8
	2006GLWS		3/4"				1.0
	2510GLWS		1"				1.8
	3212GLWS		1-1/4"				1.9
VWR	1203GS	3/8"	0.7				
	1504GS	1/2"	0.9				
	2006GS	3/4"	1.0				

*1 管用平行めねじ (G)、アメリカ管用テーパめねじ (NPT) 継手をご希望の場合は、お問合せください。

流量特性

流量特性表は、弁前後の水圧差(弁の入口と出口の圧力差)を0.1MPa一定として横軸に冷媒圧力差、縦軸に冷却水の流量を表しています。弁前後の水圧差が0.1MPa以外の場合は、補正係数表の係数を乗じた値となります。



調整ねじ1回転当りの変化量

カタログ番号	変化量 (MPa/回転)	
AWR	1203GLWS	約0.1
	1504GLWS	
	2006GLWS	
	2510GLWS	
3212GLWS	約0.075	
VWR	1203GS	約0.2
	1504GS	
	2006GS	

調整ねじ1回転当りの変化量は左記の通りです。調整時の目安としてください。反時計回りに回すと設定値が上昇し、時計方向で下降します。

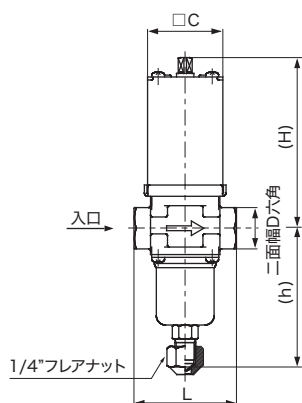
水圧差補正係数表

許容圧力損失 (MPa)	係数
0.2	1.4
0.1	1
0.03	0.55
0.05	0.7
0.07	0.8

水回路設計上制水弁に許容できる圧力損失の最大値をここから選択してください。

左の許容圧力損失以下におさえるには、「流量カーブにこの係数を乗じた流量」を超えないようにする必要があります。

外觀図



カタログ番号	D	L	H	h	□C	
AWR	1203GLWS	22	55	91	72	40
	1504GLWS	27	70	100	83	42
	2006GLWS	32	80	104	87	59
	2510GLWS	40	90	116	97	
	3212GLWS	50	100	121	102	
VWR	1203GS	22	55	91	72	40
	1504GS	27	70	100	83	42
	2006GS	32	80	104	87	

このパンフレットは日本国内向けに弊社製品の概要を紹介するものです。製品の詳細は担当営業へお問い合わせください。

株式会社 鷺宮製作所
www.saginomiya.co.jp



〒169-0072 東京都新宿区大久保 3-8-2 新宿ガーデンタワー 22 階
TEL: 03-6205-9140 E-mail: saginomiya-info@saginomiya.co.jp

⚠ 安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

製品改良のため、予告なしに仕様、構造などの変更を行うことがあります。